

事務事業名	旧飯田測候所活用事業【26新規】				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	26	終了	
H27担当課等名	環境モデル都市推進課	H27係等名	地球温暖化対策係		H26係等名	地球温暖化対策係							
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり										
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開										
目的	対象(誰・何を)	市民				対象指標	指標名及び単位				26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	地域自治活動及び環境学習の拠点とすることによるコミュニティの涵養及び温室効果ガス削減					飯田市の人口				102446		
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量											
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)			1950.1	3156	2671.3	2576.1					
	成果指標	温室効果ガス削減容量増加(トン/年)			1467.1	1679	1793.2	1824.1					
	定性目標												
事業概要	リング並木のエコハウスに次ぐ飯田市の環境拠点及び地域コミュニティ活動の場として活用するため、地域の歴史に根差した施設である旧飯田測候所を橋北地区住民の活動の場として活用し、及び指定管理者及び施設使用者である「おひさま進歩エネルギー株式会社」の実績と知見を活用し、これを増強すべく、環境に係る大学機関、研究機関などとの連携により、知見の集約を行った。												
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標				
	旧飯田測候所の管理運営(指定管理) 1 うち旧飯田測候所を活用した、環境学習事業やセミナーの実施 2 うち地区住民による施設を活用した会合等の実施				来場者数 1 実施回数 2 実施回数				321組 1,999人 1 16回 2 24回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		0	4,927	4,908	4,995	[26特定財源] (そ)財産収入							
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他			960	966	960								
一般財源			3,967	3,942	4,035								
人件費計(千円)②		0		250									
正規職員所要時間				70									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		0	4,927	5,158	4,995								
事業内容・目標達成状況の振り返り	新たに公の施設として一般の方に見学・利用できるよう整備され、指定管理制度の導入を行っているが、新規事業ということもあり、当課及び指定管理者ともに施設の管理・維持等に多くの労力を使った。												
改革改善の考え方	①問題点	施設の維持管理だけでなく、指定管理者との協力により、利用者数・事業実施数を伸ばし、環境拠点やコミュニティ拠点の核となる施設としての市民意識の構築が必要。											
	②改革提案	セミナーやイベントの企画・開催を増やすとともに市民に向けた広報活動を積極的に行う。											